

道徳心とは善悪を判断し、善を行おうとする心と言います。規範となる道徳心がなければ、人の心に響く行動はできません。子ども達において道徳心を学ぶためには、心に響く経験をすることこそが最も適しており、後の成長に大きく影響を与えます。我々JAYCEEにとっても経験に勝るものはなく、その経験ができるのも先輩諸兄姉が積み重ねて下さった歴史によるものと再認識し、常に感謝の気持ちを持ち次代に継承していかねばなりません。その考えのもと行動する事で、自分が生まれ育った地域に対する愛着、愛郷心が醸成されます。これからも乙訓地域に住まう一人ひとりが個性を発揮し、魅力ある地域であり続けるために愛郷心を子どもの頃より育む必要があります。また、乙訓の宝である子ども達を守るためにも災害対策は欠かす事のできない課題です。市町村、都道府県の枠を越えたネットワークを持つ数少ない団体である我々が関わる必要があります。

本年度青少年育成委員会では、愛郷心溢れる乙訓の宝を育成するために、「時には優しく時には厳しく」の姿勢を崩さずに、一年間活動して参ります。7月オープン例会では、子ども達の手本となるために、まず大人が道徳心を身に付ける必要性を感じられる例会を開催します。乙訓文化少年団では、普段関わる事の少ない地域の大人達と関わりながら、普段の生活とは違った様々な経験をすること好奇心を育て、道徳心を養う機会を創出します。また、保護者やJCメンバーのみならず、様々な大人がこの事業に関わる事で、「地域の子どもは地域で育てる」という意識を持って頂きます。ケイジャーズカップでは、選手一人ひとりがいきいきと競技できるよう、実行委員会と連携してスムーズな進行、運営に努めます。乙訓ふるさとふれあい駅伝では、駅伝幹事会と協力して子ども達の安全を守り、スポーツを通じて愛郷心を育む事ができるよう、大会運営を行います。さらに、青年会議所のネットワークを活かし、地域に寄り添った新たな災害対策ネットワークの構築も当委員会の責務です。そして、愛郷心溢れる子ども達を育てるべく、地域貢献推進委員会の事業に参加し、協力して参ります。さらにこれらの事業を未来永劫続けていくためにも、魅力構築委員会と連携を図り、会員拡大活動に努めて参ります。

むすびに、本年度青少年育成委員会は、私自身が先陣を切って高い壁に挑み、委員会メンバーからは目標となる、乗り越えたいと思っただけの壁に自らなる気概で活動して参ります。「響心から愛郷心へ」をテーマに、まずは委員会メンバーにどうすれば自分達の乙訓に愛郷心や誇りを持てるかを伝え、その考えを共有した上で行動し、愛郷心の輪を広げる事でこれから一年間接していく子ども達、保護者とのそれぞれの関わり方に影響を与えて参ります。委員会メンバー全員が目的と意識を一つにし、愛郷心溢れる乙訓の宝を眩しいぐらいに磨き上げていくため活動して参ります。